

子ども読書支援センターニュース No.146

2016. 7. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

- 日時：平成28年8月2日（火）11：00～11：20
- 会場：山口県立山口図書館
- 対象：幼児

【7月のおはなし会で使った本】

- 『どっちだ?』 島本 一男/脚本 夏目 尚吾/画 童心社 2000
- 『はっぱのなかでみつけた』 ひろのたかこ/さく 福音館書店 2005
- 『どうぶついろいろかくれんぼ』 いしかわこうじ/作・絵 ポプラ社 2007
- 『おーい、クレヨンくん』 古川タク/さく 福音館書店 2014
- 『ドライブにしよう』 間瀬なおかた/作・絵 チャイルド本社 2006

★小学生のためのおはなし会

- 日時：第2回 平成28年8月3日（水）14：00～15：00
第3回 平成28年8月10日（水）14：00～15：00
- 会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○講師：中村 佳恵氏（ぶどうの木代表） ○対象：小学生
- 定員：各回30名程度（要申込み） ○テーマ：第2回「紙ってすごい！」 第3回「ザ・オリンピック」

★図書館・学校図書館セミナー「選書から始まる」～子どもと本の良き出会いのために～

- 日時：平成28年8月30日（火）10：00～12：00 ○会場：山口県教育会館 第1研修室（5F）
- 講師：杉山 きく子氏（元東京都立図書館職員）（※受付は終了）

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『ないちゃったまねぎ』 わたなべあや/絵 ひかりのくに 2016.6 ¥850

「かっくてくやさいい！」スーパーでママとの約束が守れず、お菓子を買ってほしいと駄々をこねて泣いている、たまねぎちゃん。なすさんがやってきて、風船をくれても泣きやまない。次に、ねぎさんに、たかいたかいをしてもらっても泣きやまない。いろいろな野菜たちが入れ替わりたちかわりあやすが…。野菜たちのくるくる変わる表情や姿が可愛い赤ちゃん絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『ジャック船長とちびっこかいぞく』 ピーター・ベントリー/文 ヘレン・オクセンバリー/絵 やましたはるお/訳 DL 出版 2016.6 ¥1500

われら、ジャックとザックとカスパーは勇敢なちびっこかいぞく。今日は毎日で、かいぞく船をつくる。砂の船に、よだれかけの旗をかかげ、バケツの大砲もつけた。船ができあがって、ジャック船長が、めいめいをくたす。いかりをあげろ…！海で遊ぶ、元気いっぱいの子たちの想像上の楽しい夏の冒険を、ユーモアたっぷりに描いたイギリスの絵本。

『あれたべたい』 榎野浩一/ぶん 目黒雅也/え あかね書房 2016.6 ¥1300

誕生日に食べたいものをきかれた男の子。いつか、ばあばと食べた、「あれ」がほしい！だけど名前が思いだせない。甘くて、ひんやり、ふわふわ。プリンやアイスとは違う「あれ」を探して、お父さんと男の子がお店や街を巡っていく。思いだせないもどかしさも楽しい。素朴で朗らかな絵と、五七調の文でテンポよく読める。歌人榎野浩一の初めての絵本。

『ゆうだちのまち』 杉田比呂美/作 アリス館 2016.6 ¥1300

暑い暑い夏の午後、ゆきちゃんはお父さんとお出かけ。しばらくして、真っ青だった空に、灰色のくもがもくもくもく。乾いた地面に黒い水玉が、ぼ・ぼ・ぼぽん。お父さんが「ゆうだちがきそうだ」と言った時、大粒の雨が勢いよく落ちて、ざあざあざんざん！まちの人達も、慌てたり、急いだり…。夕立ちのまちと、行き交う人々の様子を情感豊かに描いた絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『つばめこうくう』 もとやすけいじ/著 佼成出版社 2016.5 ¥1300

つばめこうくうの飛行機が、南の島へ出発するよ。かえる一家や昆虫達が、ロビーで待っている。パイロットはつばめ達。つばめの背中に搭乗し、シートベルトをしめ、ひゅひゅーん！ものすごい速さで空を飛ぶ。乗客がご飯を食べ、楽しい一夜を過ごすよ、島が見えてきて…。空港や飛行機が細かく描かれ、読み応えがある。著者は飛行場で荷物を運ぶ仕事をしながら、この絵本を制作。

『ソーニャのめんどり』 フィービー・ウォール/作 なかかわちひろ/訳 くもん出版 2016.6 ¥1400

3羽のひよこを大切に育て始めたソーニャ。みるみる育て、立派なめんどりになったので、鳥小屋で飼うことに。ところがある夜、恐ろしい物音がして、狐がさらっていったとわかる。泣いて怒るソーニャに、お父さんは狐にも訳があったのかもしれないよと静かに話しかけ…。作者はアメリカ出身。初めての絵本である本書で、絵本の世界的新人賞キーツ賞を受賞。

『ウミガメものがたり』 鈴木まもる/作・絵 童心社 2016.5 ¥1500

夏の砂浜。海の中から母ウミガメがやってきた。砂浜に卵を産んで、帰っていく。卵から孵った子ガメ達は、砂からはいだし海へ向かい、長い旅が始まる。その先には広い海が待っていて…。何を食べ、どんな敵から身を守り、成長していくのか。産卵、孵化だけでなく、その後の海でのウミガメの生きぬく姿がたっぷりと描かれ、その生態を知ることができる絵本。

<読み物-小学校低学年から>

『なにがあってもずっといっしょ』 くさのたき/作 つじむらあゆこ/絵 金の星社 2016.5 ¥1200

俺は犬のサスケ。近所の小学生は、犬の言葉が分からないらしく、いくら教えても俺をサスケと呼ばない。その点、飼い主のサチコさんは、犬の言葉が分かるみたいで、一緒にいる時が一番楽しい。そのサチコさんが夕方になっても家に帰ってこない。心配で不

安で、探しに行くことに…。飼い主しか信じられなかったサスケが、近所の猫や人間の優しさに触れ、心を許していく、犬の視線で書かれた1冊。

<読み物一小学校中学年から>

『おめでたこぶた』 アリソン・アトリー/作 すがはらひろくに/訳 やまわきゆりこ/画 福音館書店 2016.6 ¥1300

こぶたのサムは畑に立つかかしジョーに興味津々。近づいて話をするうちに、旅に出たいジョーの代わりにかかしになって畑を守るようになった。張り切って畑に来る鳥たちを追い払っていたものの、かかしの仕事にもだんだん飽きてきた。そしてとうとう農場主に入れ替わりがまわってしまう…。こぶたのサムの活躍を描いた楽しいお話全6編。記者による言葉や時代背景等の説明も収録。

<読み物一小学校高学年から>

『ぼくたちのリアル』 戸森しるこ/著 佐藤真紀子/絵 講談社 2016.6 ¥1300

誰もが認める学年一の人気の瑞在(リアル)。その隣に住む地味キャラの渡、5年の進級時に転校してきた綺麗な顔をしたサジ。恋がこじれた合唱祭、瑞在の家族の悲しい過去、サジへのいじめ…。3人の出会いから9月の新学期までの出来事を、渡の視点で描く。第56回講談社児童文学新人賞受賞作品。挿し絵は、『バッテリー』シリーズをはじめ多くの児童書の挿画、装画を手がける人気画家。

<読み物一中学生から>

『少年たちの戦場』 那須正幹/作 新日本出版社 2016.5 ¥1800

明治維新から第二次世界大戦にかけて、戦場に赴いた13・14歳の少年の物語4篇を収録。第一話と第二話は戊辰戦争で政府軍として従軍した下関の餅屋の子どもと政府軍に対抗する二本松藩の子ども、第三話は広島出身で満州に渡った満蒙開拓青少年義勇軍の少年、第四話は沖繩戦を生き抜いた少年の話。作者は防府市在住。「文学のピースウォーク」シリーズ。(全6巻)

『夜間中学へようこそ』 山本悦子/作 岩崎書店 2016.5 ¥1500

戦後の貧しさで学校へ行けなかったというおばあちゃんが一念発起して夜間中学に通うことに。ところが足を痛めて…。そこで中学に入学したばかりの優菜が送り迎えをかってきた。夜間中学に行ってみると、日本人だけでなく、日本語を学ぶ多くの外国人も…。彼らの学ぶ姿勢に刺激され、優菜は夜間中学でかたがえのない学びをすることに…。『物語の王国』シリーズ。

『ゴーストの騎士』 コルネリア・フンケ/著 浅見昇吾/訳 WAVE出版 2016.6 ¥2700

母の再婚にあたって、ソールズベリーの寄宿舎に入れられた11歳のジョン。そのジョンを殺そうと現れたのが16世紀に死んだストーン卿の幽霊たち。ジョンは幽霊に興味を持つエラと共に、真夜中の大聖堂に眠る騎士に助けを求める。彼を救ってくれた騎士を敬愛するジョンは従騎士として彼の願いをかなえるべく…。『魔法の声』などの作品で知られるドイツの児童文学作家による冒険小説。

<ノンフィクション一小学校中学年から>

『ルビィのぼうけんこんにちは!プログラミング』 リンダ・リウカス/作 鳥井雪/訳 翔泳社 2016.5 ¥1800

2部構成作品。前半は冒険絵本。「宝石をさがしてごらん」というハンカチの手紙を見て、冒険に出かけることにした女の子ルビィ。何から始める?手がかりは?友だちとの出会いを通じてプログラミングの基礎概念を知る。後半は、絵本で触れた考え方をより深く体験するアクティビティ。いかに楽しくプログラミングに触れるかを考えられた、フィンランドのプログラマーの作品。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『まんとうにあったオリンピックストーリーズ』 日本オリンピック・アカデミー/監修 講談社 2016.5 ¥680

体操の内村航平選手、フィギュアスケートの山田満知子コーチ、車いすフェンシングの藤田道宣選手…。オリンピック、パラリンピックで活躍する選手本人や、その選手を支えるコーチ、スタジアムの聖火台をつくった会社など、舞台裏の感動ストーリー全13編。また、「金メダルは実は90%以上銀でできている。」など、オリンピックの豆知識も、Q&A形式で、20個紹介する。

<ノンフィクション一中学生から>

『命と向きあう教室』 制野俊弘/著 ポプラ社 2016.5 ¥1300

東日本大震災で子どもたちが何を体験し、その後の喪失感や自責の念とどう向きあい、命についてどう考えているかを「本音」で綴った中学生の作文を中心に、筆者が教師として、「命の教育」に取り組んできた記録。NHKスペシャルで放映(2015.3.29)された「命と向きあう教室～被災地の15歳・1年の記録～」とその背後にあった様々な取り組みをまとめたもの。

<研究書>

『0～5歳子どもを育てる「読み聞かせ」実践ガイド よくわかる!絵本の選び方・読み方』 児玉ひろ美/著 小学館 2016.4 ¥1500

乳幼児期における絵本の役割、読み聞かせの基本、コツやプログラム作り、1冊の本を読み聞かせる際の実践例など、0歳から5歳までの年齢別読み聞かせのポイントを初心者向けに丁寧に説明。てあぞびやプログラムの組み立て例、おすすめブックガイドには読み聞かせる際のコツが書かれ、実践に役立つ1冊。著者は、JPIC読書アドバイザー。教育技術・新幼児と保育MOOKシリーズ。

【県内の動き】

★夏休み子ども映画会

- 上映内容:『日本昔ばなし』『トムとジェリー 花火はすごいぞ』
- 日時:平成28年8月3日(水)13:30～ ○会場:山陽小野田市厚狭地区複合施設 2階 第2研修室
- 入場:無料 ○照会先:山陽小野田市立厚狭図書館 (TEL:0836-72-0323)

★子どものやさしい切り紙

- 日時:平成28年8月4日(木)1～3年生 10:00～11:30 4～6年生 14:00～15:30
- 対象:小学生とその保護者(低学年のみ)(4～6年生は、小学生のみの参加)
- 会場:周南市立熊毛図書館ボランティア室 ○定員:各時間10名程度(申込順)
- 照会先:周南市立熊毛図書館 (TEL:0833-92-0179)

★絵本交換会

- 日時:平成28年8月18日(木)～8月21日(日)9:30～16:30 ○会場:山口県立美術館 ロビー
- 参加費:無料 ○申込:不要 ○照会先:山口県立美術館 (TEL:083-925-7788)

★光紙芝居教室～4枚からの紙芝居を作ろう～

- 日時:平成28年8月26日(金)13:00～15:15 ○会場:宇部市学びの森くすのき 市民交流室
- 対象:3歳から大人まで(一人でも親子でも可)○参加費:無料 ○定員:20名(要申込み、申込多数の場合は抽選)
- 申込み締切:平成28年8月16日(火)
- 持参物:色鉛筆、マジックなど絵を描くのに使いたい道具(水を使うものは不可)
- 照会先:宇部市学びの森くすのき (TEL:0836-67-1277)

★図書館人形劇まつり

- 日時:平成28年8月27日(土)14:00～ ○会場:山陽小野田市立中央図書館 2階 視聴覚ホール
- 定員:150名程度(先着順)○参加費:無料 ○照会先:山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。

発行:山口県子ども読書支援センター(山口県立山口図書館内)TEL:083-924-2111(代表) FAX:083-932-2817
ホームページ: <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp> Eメール: a50401@pref.yamaguchi.lg.jp